

第一朗読 イザヤの預言 56:1、6-7

主はこう言われる。正義を守り、恵みの業を行え。わたしの救いが実現し
わたしの恵みの業が現れるのは間近い。
主のもとに集って来た異邦人が主に仕え、主の名を愛し、その僕となり
安息日を守り、それを汚すことなく わたしの契約を固く守るなら
わたしは彼らを聖なるわたしの山に導き
わたしの祈りの家の喜びの祝いに連なることを許す。
彼らが焼き尽くす献げ物といけにえをささげるなら
わたしの祭壇で、わたしはそれを受け入れる。
わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。

第二朗読 ローマの教会への手紙 11:13-15、29-32

(皆さん、) あなたがた異邦人に言います。わたしは異邦人のための使徒であるので、
自分の務めを光栄に思います。何とかして自分の同胞にねたみを起こさせ、その幾人
かでも救いたいのです。もし彼らの捨てられることが、世界の和解となるならば、彼
らが受け入れられることは、死者の中からの命でなくて何でしょう。
神の賜物と招きとは取り消されないものなのです。あなたがたは、かつては神に不
従順でしたが、今は彼らの不従順によって憐れみを受けています。それと同じように、
彼らも、今はあなたがたが受けた憐れみによって不従順になっていますが、それは、
彼ら自身も今憐れみを受けるためなのです。神はすべての人を不従順の状態に閉じ込
められましたが、それは、すべての人を憐れむためだったのです。

福音朗読 マタイによる福音 15:21-28 「主よ、どうかお助けください」

(そのとき、) イエスは、ティルスとシドンの地方に行かれた。すると、この地に生ま
れたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が
悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。しかし、イエスは何もお答えにならな
かった。そこで、弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫
びながらついて来ますので。」イエスは、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊の
ところにしか遣わされていない」とお答えになった。しかし、女は来て、イエスの前
にひれ伏し、「主よ、どうかお助けください」と言った。イエスが、「子供たちのパン
を取って小犬にやってはいけない」とお答えになると、女は言った。「主よ、ごもつと
もです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」そこで、イ
エスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになる
ように。」そのとき、娘の病気はいやされた。

共同祈願 「平和の使徒」となるための祈り

愛と平和の源である神よ、
あなたは、世界で最初の被爆地に司教座聖堂を据えるわたしたちを、
世界平和のために働く使命へと招いておられます。
この召命に応えていくために聖霊の息吹によってわたしたちの罪をゆるし、
キリストの愛のうちにとどまらせてください。
どんなときにもキリストの平和の福音を宣べ伝え、
すべてのいのちを守るあなたの愛をあかしするため、現代社会の中で、
自分にできることをすすんでささげるキリストの「平和の使徒」とならせてください。
主キリストは生きて、治めておられます、
世々とこしえに。アーメン。